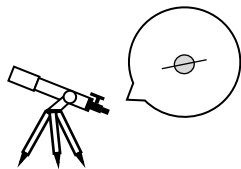


※



11月の星空を見よう



今年一番大きな満月スーパームーン

地球の周りをまわっている月は、その公転軌道が楕円軌道となっているので、満月の時に見る月の大きさは毎回違ってきます。

今年は11月5日の満月が一番大きく見えます。1年の中で最も大きく見える満月のことを天文用語ではありませんが、最近ではスーパームーンと呼びます。また、この満月は1年の中で最も地球に近づいている満月ともいえます。

ところで、1年で最も小さく見える満月はミニマムムーンと呼ばれていますが、今年は4月13日の満月がそうでした。

次の写真は、スーパームーンとミニマムムーンの見た目の大きさの違いを示す写真です。



スーパームーン(左)とミニマムムーン(右)(撮影:浦辺守)

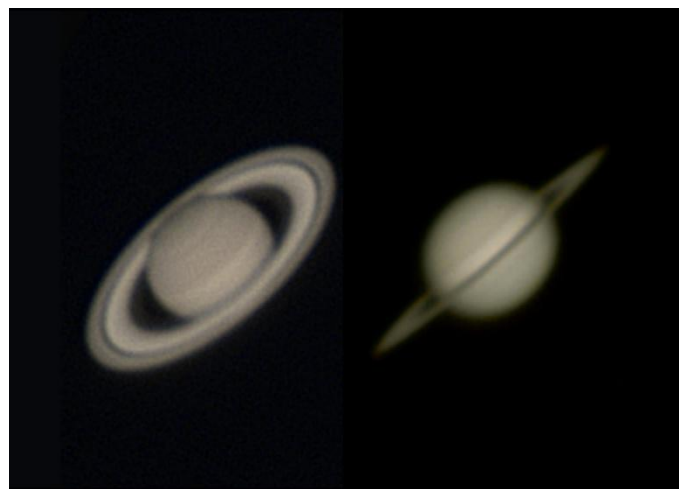
☆土星の環の見え方に注目

今年の土星は11月ごろが夕空に見えて観測好機となります。土星は、天体望遠鏡で観察すると環が見られるおもしろい天体

といえます。しかし、今年見る土星は環がとても細く見えます。

特に11月末頃は、環の傾きが少なくなり、まるで真横から見ているような状態となって、環が消えたように見られるかもしれません。

めったに見られない土星の姿となります。楽しみですね。



土星の環の傾きの変化 土星の環が開いて見えるときの形状とほぼ真横に近い位置から見える形状。今年は右側の環がほぼ見えない形状に近くなります。(撮影:石川勝也)

☆秋の星座を見よう

関東地方では11月に入ると晴れる日が多くなり、星見には適した季節といえます。

夜空には秋の星座の代表格である秋の四辺形をかたちづくるペガサス座をはじめ、お誕生月の星座として星占いに登場するみずがめ座ややぎ座およびうお座などをみつけましょう。さらに北極星をさがすのに用いるカシオペア座なども秋の星座に含まれます。ぜひさがしてみましょ。



ギャラクシティ
G A L A X Y C I T Y



まるちたいけんドーム(プラネタリウム)
〒123-0842 東京都足立区栗原一丁目3番1号